

平成 29 年度事業報告書

事業	実施状況
<p>1. 調査・研究事業</p> <p>○平成 28 年度調査・研究事業「北陸地域におけるライフサイエンス分野の産業集積」に関する調査及び研究</p>	<p>調査報告会 (平成 29 年 6 月 9 日(金))</p> <p>場所：ホテル日航金沢</p> <p>参加者：76名</p> <p>[基調講演]</p> <p>「北陸地域におけるライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク構築に向けて」</p> <p>講師：早稲田大学 商学大学院 教授 藤田 誠 氏</p> <p>[報告会]</p> <p>「北陸地域におけるライフサイエンス分野の産業集積に関する調査及び研究」</p> <p>報告：(株)日本経済研究所 執行役員 地域本部長 越智 弘雄 氏</p> <p>[パネルディスカッション]</p> <p>「北陸地域におけるライフサイエンスクラスターの更なる発展に向けて」</p> <p>パネリスト：</p> <p>早稲田大学 商学大学院 教授 藤田 誠 氏</p> <p>経済産業省 中部経済産業局 地域経済部 地域振興課長 嶋田 明彦 氏</p> <p>国立大学富山大学 理事・副学長 鈴木 基史 氏</p> <p>一般社団法人富山県薬業連合会 専務理事 高田 吉弘 氏</p> <p>(株)日本政策投資銀行北陸支店 企画調査課長 齊藤 成人 氏</p> <p>(株)シャルマン 取締役専務執行役員 岩堀 一夫 氏</p> <p>司会：一般財団法人北陸産業活性化センター</p> <p style="text-align: right;">北陸ライフサイエンスクラスター推進室長 福井 幸博</p>
<p>○「北陸地域における元気増進産業振興の可能性」に関する調査及び研究</p>	<p>調査委員会 (平成 29 年 5 月 10 日(水), 7 月 14 日(金), 8 月 3 日(木), 9 月 7 日(木))</p> <p>委員長:梅村学園 学事顧問 北川 薫 氏</p> <p>委員：(株)ネスティ 代表取締役 進藤 哲次 氏</p> <p style="text-align: right;">金沢大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科学分野 教授 篁 俊成 氏</p> <p>(一財)北陸予防医学協会 理事長 永田 義邦 氏</p> <p style="text-align: right;">DNVGL ビジネス・アシユアランス・ジャパン(株)</p> <p style="text-align: right;">フード&bevレッジ/ビジネスイノベーションマネージャー 長谷川 清 氏</p> <p>事業化までの時間軸、費用を考慮し、比較的参入の容易な元気増進産業について事業化に向けた課題、方策を検討した。</p> <p>今後の成長性、北陸での産業の厚み、北陸の伝統の観点から検討。元気増進産業振興のターゲット領域を以下の4つの分野に特定し、その方向を示した。</p>

事業	実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・食・農…「薬膳」、「漢方原材料の商標化」 ・ツーリズム（観光）…「現代版・湯治」、「農村・漁村体験ツーリズム」、「食育ツーリズム」 ・スポーツ…「サイクルツーリズム」、「北陸マスターズゲーム開催」、「プロスポーツチームによる出前指導」 ・ものづくり・デザイン…「まち・オフィス・住宅の一体的ユニバーサルデザイン化」「介護ロボット」 <p>実現に向けての支援組織として元気増進産業コンソーシアムを提言し、経済産業省の「地域中核企業創出・支援事業」の平成29年度2次公募「生活習慣病の予防・改善を目的とした公的保険外サービス関連企業ネットワーク創出・支援事業」の採択につなげた。</p>
	<p>調査報告会（平成30年2月26日(月)）</p> <p>場所：ホテル金沢</p> <p>参加者：50名</p> <p>〔基調講演〕</p> <p>「健康？元気！」</p> <p>講師：梅村学園 学事顧問 北川 薫 氏</p> <p>〔報告会〕</p> <p>「北陸地域における元気増進産業振興の可能性」に関する調査及び研究</p> <p>報告：(株)日本経済研究所 地域本部 地域振興部長 仲倉 修 氏</p> <p>〔パネルディスカッション〕</p> <p>パネリスト：</p> <p>梅村学園 学事顧問 北川 薫 氏</p> <p>(株)ネスティ 代表取締役 進藤 哲次 氏</p> <p>金沢大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科学分野 教授 篁 俊成 氏</p> <p>(一財)北陸予防医学協会 理事長 永田 義邦 氏</p> <p>DNVGL ビジネス・アシュアランス・ジャパン(株) フード&ベバレッジ/ビジネスイノベーションマネージャー 長谷川 清 氏</p> <p>経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 地域経済課長 原 幸彦 氏</p> <p>司会：一般財団法人北陸産業活性化センター</p> <p>北陸ライフサイエンスクラスター推進室長 福井 幸博</p> <p>元気増進産業への理解を深め、新規の参入者への意欲を高めた。</p>

事業	実施状況
<p>2. プロジェクトに必要なコンサルティングおよび支援活動</p> <p>(1)産・学・官との連携と支援活動</p> <p>○社会を持続させる環境技術に関する支援</p>	<p>第4回サステナブルテクノロジーセミナー (平成30年3月20日(火))</p> <p>テーマ:「持続可能な社会の実現に向けて ～脱化石燃料、CO₂排出削減のための水素等の利活用～」</p> <p>場所: ホテル金沢</p> <p>参加者: 30名</p> <p>内容:</p> <p>[基調講演]</p> <p>「低炭素社会を目指す世界と日本の取組み—水素の可能性と課題—」 (株)テクノバ 丸田 昭輝 氏</p> <p>[事例・研究紹介]</p> <p>「メタンを活用した水素社会構築の可能性について」 富山大学 研究推進機構水素同位体科学研究センター センター長・教授 阿部 孝之 氏</p> <p>「エネルギーキャリアの直接使用を目指すギ酸循環社会」 金沢大学 理工研究域機械工学系 准教授 辻口 拓也 氏</p> <p>[交流会]</p>
<p>○小容量バイオマス利用研究会</p>	<p>第7回小容量バイオマス利用研究会 (平成29年5月30日(火))</p> <p>場所: 富山県民共生センター サンフォルテ</p> <p>参加者: 21名</p> <p>内容:</p> <p>[第一部 講演]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演1 「農林系バイオマスの現状と利用について」 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 薬師堂 謙一 氏 ・講演2 「地域の材と財の循環が生み出す付加価値の評価方法」 北陸先端科学技術大学院大学 佐々木 康明 氏 <p>[第二部 地域事例紹介]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例1 「第2次富山市環境未来都市計画の将来」 富山市環境部環境政策課 東福 光晴 氏 ・事例2 「呉羽丘陵の梨果樹農家を対象とした、果樹剪定枝を熱源とする都市近郊果樹農村地域の再生提案」 金沢大学 准教授 榎本 啓士 氏 <p>本研究会の活動から派生した富山市ファミリーパークの第2次富山環境未来都市プロジェクトチームへ参加した。</p>
<p>○ものづくり4研究会等</p>	<p>北陸産業活性化フォーラム (平成29年11月16日(木))</p> <p>場所: ホテル金沢</p> <p>共催: NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会 ほくりく先端複合材研究会、北陸マイクロナノプロセス研究会 ほくりく環境・バイオマス研究会</p>

事業	実施状況
	<p>後援：中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局、北陸経済連合会 参加者：70名（異業種交流会：40名） 内容： 〔基調講演〕 「I o Tに取り組む前に一発想の転換で効率化から最適化へー」 講師：一般財団法人北陸経済研究所 調査研究部 担当部長 藤沢 和弘 氏</p> <p>〔特別講演〕 「医療系でのI o T活用事例 ーI o Tの活用とワークスタイル変革ー」 講師：福井大学医学部附属病院 医療情報部 総合情報基盤センター 副部長・准教授・副センター長 山下 芳範 氏</p> <p>〔異業種交流会〕 参加者相互の情報交換等</p>
○東京大学との連携	<p>東京大学地域未来社会連携研究機構 機構長 松原宏教授より北陸産業活性化センターとの連携に向けた提案があり、連携協定を締結した。（平成30年4月1日）また、その一環として経済産業省平成30年度「地域中核企業創出・支援事業」に以下のプロジェクトを共同で申請した。（平成30年3月26日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト名 北陸地域における先端ものづくり産業の国際競争力強化事業の創出 ・分野 I o T、A I、ロボット、ビッグデータ活用
(2) 国等の事業への支援	<p>【共催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸技術交流テクノフェア2017（平成29年10月26日（木）～27（金）） 場所：福井県産業会館 主催：技術交流テクノフェア実行委員会（事務局：福井商工会議所） 出展内容：北陸ライフサイエンスクラスターやR&D研究助成事業をパネルや製品等により紹介 <p>【後援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第12回しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2017」（平成29年11月8日（水）） 場所：富山県産業展示館 [テクノホール]（富山市） 主催：一般社団法人北陸地区信用金庫協会 しんきんビジネスフェア実行委員会

事業	実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際漆展・石川 2017 (平成 29 年 10 月 13 日(金)～25 日(水)、場所：石川県政記念しいのき迎賓館 (金沢市)、11 月 11 日(土)～平成 30 年 1 月 14 日(日)、場所：石川県輪島漆芸美術館 (輪島市)) 主催：国際漆展・石川開催委員会 ・ 講演会「シリコンバレーの動向とデザインシンキング」 (平成 29 年 8 月 7 日(月)) 場所：ホテル金沢 (金沢市) 主催：北陸経済連合会 ・ 講演会「グーグルの未来を創るイノベーション戦略」 (平成 29 年 9 月 29 日(金)) 場所：ANAクラウンプラザホテル金沢 (金沢市) 主催：北陸経済連合会 ・ Maching HUB Kanazawa2017 (平成 29 年 10 月 31 日(火)～11 月 1 日(水)) 場所：ホテル日航金沢 (金沢市) 主催：北陸先端科学技術大学院大学産学官連携本部 ・ 2018 年産業技術総合研究所中部センター研究講演会 (平成 30 年 1 月 29 日(月)) 場所：愛知県産業労働センター (ウィンクあいち) (名古屋市) 主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター
(3) 技術アドバイス、コーディネータ活動	<p>＜経団連マッチング事業 (北陸経済連合会との共同事業)＞ 金沢大学、富山大学、北陸先端科学技術大学院大学より北経連と経団連のマッチング事業向けに提案を受領。業界向けに提案を実施し、メーカーとの面談にも繋がる。</p> <p>＜R&D推進・研究助成の申請アドバイス、フォロー活動＞ 高機能新素材やライフサイエンス関連を中心に活動を行った。</p> <p>＜他機関コーディネータ等活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 新技術調査委員 (平成 28 年 5 月 13 日～) ・ 平成 29 年度「地域中核企業創出・支援事業 (北陸地域高機能新素材産業創出支援事業)」ネットワーク型コーディネータへの就任 (2017. 6. 29～) ・ 金沢工業大学 「新時代の里山都市創生イノベーション研究プロジェクト」評価委員 ・ 第 2 次富山市環境未来都市プロジェクトチームへの参画

事業	実施状況												
	<p>＜その他活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高機能新素材関連メーカー訪問 <table border="1" data-bbox="496 398 1425 719"> <thead> <tr> <th>コーディネート活動</th> <th>件数</th> <th>具体的内容・成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>依頼件数・提案件数</td> <td>21 件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マッピング成立</td> <td>15 件</td> <td>産学 11 件、産産 3 件、産金 1 件</td> </tr> <tr> <td>具体的な動き進行中 ※</td> <td>3 件</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・経団連とビジネスマッチング事業を実施する方向で調整中 ・クラウドファンディングの利活用 ・塵芥リサイクル化 </td> </tr> </tbody> </table> <p>※マッピング成立により、その後定期的に意見交換等を行う関係が構築されているケースが多い。そのうち、現時点で具体的な動きを把握しているもののみ、件数としてカウントしている。</p>	コーディネート活動	件数	具体的内容・成果	依頼件数・提案件数	21 件		マッピング成立	15 件	産学 11 件、産産 3 件、産金 1 件	具体的な動き進行中 ※	3 件	<ul style="list-style-type: none"> ・経団連とビジネスマッチング事業を実施する方向で調整中 ・クラウドファンディングの利活用 ・塵芥リサイクル化
コーディネート活動	件数	具体的内容・成果											
依頼件数・提案件数	21 件												
マッピング成立	15 件	産学 11 件、産産 3 件、産金 1 件											
具体的な動き進行中 ※	3 件	<ul style="list-style-type: none"> ・経団連とビジネスマッチング事業を実施する方向で調整中 ・クラウドファンディングの利活用 ・塵芥リサイクル化 											
<p>3. 健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスタの形成事業</p>	<p>文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラムの補助を受け、老若男女がいきいきと暮らせる「健やかな少子高齢化社会」の実現に向けて、北陸3県の産学金官の各機関と地域社会が一体となって、ライフサイエンス分野の研究開発から、事業化に向けた取り組みを進めた。</p> <p>〔地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積 研究テーマ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規 TLR リガンドを活用した自然免疫増強剤及び炎症抑制剤の開発（富山大学） ・代謝工学を用いた抗炎症剤の開発（富山県立大学） ・生活習慣病の重症度を診断するメタボリックチップ開発に向けた基盤研究（金沢大学） ・健康長寿社会の実現に向けた革新的デバイスを用いたチップ型ナノバイオ計測システムの創成（北陸先端科学技術大学院大学） ・生活習慣病の発症・進展における新規ターゲットとしての Toxic AGEs (TAGE) の関与とその阻止（金沢医科大学） ・チタンの微細加工ならびに異なるチタン接合技術による生体適合性のよい外科用器具、インプラントの作製（福井大学） ・生理活性ペプチドを用いる新たながん診断・治療戦略（福井大学） ・陽子線癌治療における高度な照射法に対応した検証技術の開発（若狭湾エネルギー研究センター） <p>各機関に研究者を招へいし、研究開発・事業化を行った。研究開発が進み、学会発表、事業化に向けた試作品等の作成、営業活動も順調に展開した。</p>												

事業	実施状況
	<p>[大学等の知のネットワークの構築等]</p> <p>各参画機関との連絡を密にし、研究開発の進捗管理、事業化に向けた海外への情報発信を活発に行うとともに、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局と連携しライフサイエンス分野の産業振興に努めた。また、人材育成支援プログラムの作成支援、研究設備の共用化に向けた情報発信等も取組んだ。</p>
○海外調査等	<p>研究成果の事業化等々に向け、国際展示会、国際学会等において情報発信を行うとともに、市場調査、情報収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>・ 20th International Conference on Cytochrome P450 (平成 29 年 8 月 27 日(日)～31 日(木)) 参加者：富山県立大学 西川 美宇 (TOPU バイオ研究所) 場所：ハインリッヒ・ハイネ大学 (ドイツ デュッセルドルフ)</p> <p>・ 北陸 (日本)・韓国経済交流会議 (平成 29 年 8 月 27 日(日)～30 日(水)) 参加者：北陸ライフサイエンスクラスター 福井 幸博 北陸先端科学技術大学院大学 BIYANI, Manish 福井大学医学部 多田 弘幸 (シャルマン)</p> <p>・ 第 18 回北陸 (日本)・韓国経済交流会議 場所：安東グランドホテル (韓国 慶尚北道 安東市)</p> <p>・ 財団法人原州医療機器テクノバレー 情報交換・連携協議 場所：韓国 江原道 原州市</p> <p>・ スイス・バーゼル交流訪問団 (Basel Life 2017 Innovation Forums) (平成 29 年 9 月 10 日(日)～16 日(土)) 参加者：北陸ライフサイエンスクラスター 高森 寛 富山大学大学院医学薬学研究部 長井 良憲 場所：バーゼル・コンgresセンター他 (スイス バーゼル)</p> <p>・ The 12th Anniversary India-Japan Fest BICON 2017 (India-Japan Bilateral Conference, Japan Higher Education Fair2017) (平成 29 年 10 月 11 日(火)～13 日(金)) 参加者：北陸ライフサイエンスクラスター 国岡 由紀 北陸先端科学技術大学院大学 BIYANI, Manmish 場所：UTSAV Auditorium, Biyani Girls College, Vidhyadhar Nagar, Jaipur, India</p>

事業	実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミャンマーにおける医薬品・医療機器等の市場調査 (平成 29 年 10 月 28 日(土)～11 月 5 日(日)) 参加者：北陸ライフサイエンスクラスター 高森 寛 場所：保健スポーツ省伝統医療局、食品医薬品局、国立伝統薬製造工場 伝統薬メーカー、医薬品関連商社、ドラッグストア（ネピドー、 マンダレー、ヤンゴンなど） ・ MEDICA2017-World Forum for Medicine (平成 29 年 11 月 12 日(日)～ 17 日(金)) 参加者：北陸ライフサイエンスクラスター 川上 文清 場所：デュッセルドルフ見本市会場（ドイツ デュッセルドルフ）
○展示会出展等	<p>情報発信、情報収集等のため、国際展示会、地域の展示会等で、事業・研究成果の紹介を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス創造フェアいしかわ 2017 (平成 29 年 5 月 18 日(木)～20 日(土)) 場所：石川県産業展示館 2号館（金沢市） ・ Bio Japan 2017 (平成 29 年 10 月 11 日(水)～13 日(金)) 場所：パシフィコ横浜（神奈川県 横浜市） ・ 北陸技術交流テクノフェア 2017 (平成 29 年 10 月 26 日(木)～27 日(金)) 場所：福井県産業会館（福井市） ・ 富山県ものづくり総合見本市 2017 (平成 29 年 10 月 26 日(木)～28 日(土)) 場所：富山産業展示館「テクノホール」（富山市） ・ Matching HUB Kanazawa 2017 (平成 29 年 10 月 31 日(火)～11 月 1 日(水)) 場所：ホテル日航金沢（金沢市）
○成果報告会	<p>成果報告会 (平成 29 年 7 月 31 日(月)) 場所：ホテル日航金沢 参加者数：約 130 名 〔基調講演〕 「大学における免疫学の基礎研究とそれに基づく創薬開発」 講師：東京大学 教授 松島 綱治 氏</p>

事業	実施状況
	<p>[研究報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活習慣病の重症度を診断するメタボリックチップ開発にむけた基礎研究」 (金沢大学 金子研究室 篁 俊成 教授) ・「代謝工学を用いた抗炎症剤の開発」 (富山県立大学 榊研究室 榊 利之 教授、西川 美宇 研究員) ・「チタンの微細加工ならびに異なるチタン接合技術による外科用器具、インプラントの作製」 (福井大学 菊田研究室 多田 弘幸 研究員) <p>クラスター事業の活動成果、研究開発の成果、事業化活動等々を広く紹介するため、北陸ライフサイエンスクラスター成果報告会を開催し、情報発信、交流を行った。</p>
○シンポジウム (協賛)	<p>富山・ミャンマー 伝統医薬品・プライマリーヘルスケアシンポジウム 2017 (平成 29 年 6 月 26 日(月))</p> <p>場所：パレブラン高志会館 (富山市)</p> <p>参加者数：約 90 名</p> <p>JICA 草の根技術協力事業「ミャンマーにおける伝統医薬品の製造管理および品質管理の改善を通じた保健衛生向上事業」における富山とミャンマーとの連携交流を支援するため、保健医療や伝統医薬産業をテーマとしたシンポジウム開催に協賛した。</p>
○会議等	<p>外部評価委員会 (平成 29 年 8 月 1 日(火))</p> <p>場所：ホテル金沢</p> <p>参加者：17 名</p> <p>研究成果、事業化に係る報告書と、前日に開催された成果報告会における研究成果報告、ポスターセッション等の情報を受けて、成果、事業化、海外展開等について評価並びに情報交換を行った。</p> <p>バイマンズリーミーティング (平成 29 年 4 月 12 日(水)、6 月 20 日(火)、8 月 9 日(水)、10 月 18 日(水)、12 月 19 日(火))</p> <p>場所：北国ビルディング (金沢市)</p> <p>参加者数：約 20 名</p> <p>県、支援機関等の北陸ライフサイエンスクラスター関係者が出席し、事業推進に関する打合せを行った。</p>

事業	実施状況
○研究会	<p>北陸ライフケアシステム研究会 (平成 29 年 5 月 16 日(火)、9 月 5 日(火)、12 月 6 日(水)、2 月 20 日(火)) 場所：石川県庁（金沢市） 参加者：約 20 名 研究会メンバーの研究内容、採択された競争的外部資金内容等々の情報交換を行い、ライフサイエンス分野の研究における、研究情報の共有化を進めた。</p> <p>第 7 回北陸なつめ研究会（平成 29 年 8 月 31 日(木)） 場所：ナック・ケイ・エス(株)（福井市） 参加者数：24 名 地域特産の「なつめ」の普及を目指した健康機能性に関する研究、地域資源の有効活動等の研究発表、棗の里農園見学等が行われた。会員が増加しているため、名称を「日本なつめ研究会」を変更することを承認した。また、なつめを使った創作ランチが提供された。</p>
○地域イノベーション戦略支援プログラム 終了評価 ・ 自己評価書の提出 ・ 現地ヒアリング ・ 評価結果	<p>最終年度にあたり、終了評価に係る自己評価報告書の提出、現地ヒアリングを受け、総合評価「A」の高い評価を得た。</p> <p>平成 29 年 9 月 21 日(木)、地域イノベーション戦略支援プログラム終了評価に係る自己評価書を文科省へ提出</p> <p><地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）> 現地ヒアリング（平成 29 年 12 月 11 日(月)） 場所：石川県立大学、いしかわ大学連携インキュベーター i-BIRD（野々市市） 終了評価に係る現地ヒアリングを実施。評価委員に対し、事業全体や支援メニュー（大学等の知のネットワーク構築、地域イノベーションの中核を担う研究者の集積）等について内容や成果を説明したほか、施設見学を行った。</p> <p>評価の発表（平成 30 年 3 月 14 日(水)） 本事業においては、研究開発、研究成果の事業化展開、海外市場への情報発信等々について大きな成果が出て、終了評価では「A」評価を得たが、事業終了することとなった。 今後は三県等と連携しこの事業の成果を継承しつつ、事業化を推進する活動に取り組む。</p>

事業	実施状況
○北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会	<p>北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会（平成30年2月19日(月)）</p> <p>場所：ホテル金沢</p> <p>参加者：約50名</p> <p>5年間の事業、知のネットワーク、招へい研究者の研究成果、事業化展開等の実施状況の報告、今後のライフサイエンス事業の構築に向けた取組などについて協議を行った。文部科学省の同プログラムは平成32年度を最終目標に地域イノベーション創出に向けた取組みを要求されていることなどから、推進協議会は、活動を継続する。（年1回報告会を実施）</p> <p>北陸産業活性化センターは総合調整機関として、推進協議会の事務局を務める。</p>
○北陸ライフサイエンスクラスター事業に係わる事後処理業務	<p>事業終了後の対応について、三県と打ち合わせ。</p> <p>（4/20, 6/20, 7/13, 8/9, 9/4, 10/18, 3/1）</p> <p>主な打合せ事項:事務処理の費用（900,000円）を3県負担で合意。</p>
4. 経済産業省地域中核企業創出・支援事業	<p>「生活習慣病の予防・改善を目的とした公的保険外サービス関連企業ネットワーク創出・支援事業」</p> <p>平成29年度2次公募に採択され、以下の事業を実施した。</p> <p>事業内容：有望企業等が参加する以下の4研究会を設置、11名の専門家を招聘。合同研究会を3回開催し、ネットワーク形成に努めた。</p> <p>「生薬原料の海外生産に関わる研究会」（研究会1）</p> <p>「AIを活用した生薬健康食品開発研究会」（研究会2）</p> <p>「高齢者向けリハビリサービス輸出研究会」（研究会3）</p> <p>「障害者・高齢化向けユニバーサルデザインの製品・サービスの開発に関わる研究会」（研究会4）</p> <p>受託契約金額：3,991,757円</p> <p>受託期間：平成29年12月18日(月)～平成30年3月30日(金)</p> <p>[研究会]</p> <p>研究会1・研究会2【合同開催】（平成30年2月6日(火)）</p> <p>場所：ホテル金沢</p> <p>参加者：23名</p> <p>研究会3・研究会4【合同開催】（平成30年2月9日(火)）</p> <p>場所：ホテル金沢</p> <p>参加者：25名</p> <p>研究会1・研究会2・研究会3・研究会4【合同開催】</p> <p>（平成30年2月21日(水)）</p> <p>場所：金沢ニューグランドホテル</p> <p>参加者：23名</p>

事業	実施状況
<p>・実績報告書提出</p>	<p>概算払い請求書 355 万円</p> <p>各研究会で出た意見を反映し、平成 30 年度以降の事業で事業化を目指す。</p>
<p>5. R & D 推進・研究助成</p>	<p>公募（平成 29 年 4 月 17 日(月)～5 月 19 日(金)） 20 先を受付。 特定テーマ：「ライフサイエンス」「高機能新素材」の研究に優先枠を設けた。</p> <p>審査委員会（平成 29 年 6 月 30 日(金)） 場所：ホテル金沢</p> <p>・下記の 4 件、総額 12,000 千円の助成を決定。 （審査委員 5 名）</p> <p>①「炭素繊維を使用した低コストのポールの製造方法の開発」 三光合成(株) 代表取締役社長 黒田 健宗</p> <p>②「超高張力鋼板の塑性加工金型向けに開発された硬質膜の実用化に関する研究」 フジタ技研(株) 代表取締役 安藤 英治</p> <p>③「モバイル型迅速簡便微生物菌遺伝子検査システムの開発」 北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス系 教授 高村 禪</p> <p>④「光架橋性人工核酸を用いた高精度なコンパニオン診断薬の開発」 日華化学(株) 代表取締役社長 江守 康昌</p> <p>交付決定助成交付式、成果報告会（平成 29 年 7 月 26 日(水)） 場所：ホテル金沢 参加者：43 名</p> <p>・採択 4 件の交付式</p> <p>・成果発表 実用化見込 2 件の発表</p> <p>①「噴射加工を用いた高精度チタン部品の加工」 (株)シャルマン 製品開発部技術開発課 多田 弘幸 氏 （平成 23 年度採択）</p> <p>②「標準ファントムを用いた脳磁計評価法の最適化に関する研究」 金沢工業大学 准教授 小山 大介 氏（平成 26 年度採択）</p>
<p>6. 北陸地域の産業の活性化のための普及啓発</p> <p>(1) 技術シーズ（研究成果）の発表会等の開催</p>	<p>産業技術総合研究所イノベーションシーズ講演会（平成 29 年 11 月 1 日(水)） 場所：ホテル日航金沢 参加者：延べ 50 名 共催：国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター （Maching HUB Kanazawa2017 内で支援機関セミナーとして開催） 発表テーマ 4 件：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能性食品としてのキノコ・菌類の将来 ・睡眠障害モデルマウスを用いた睡眠改善食品の開発

事業	実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・再生医療に向けた3次元足場材料の開発 ・優れた強度と延性のバランスを示す難燃性マグネシウム合金展伸材の開発
(2) 講演会・セミナー等の開催	<p>設立30周年記念講演会・交流会（平成30年2月5日(月)） 場所：ホテル日航金沢 参加者：講演会120名、交流会100名 〔記念講演〕 「“The Quality Sleep”の可能性を追求する ～世界の睡眠を快適にするエアウィーヴの挑戦～」 (株)エアウィーヴ 代表取締役会長兼社長 日本高圧電気(株) 代表取締役社長 高岡 本州 氏</p>
(3) 会報誌の発行	2回発行（7月、12月）
7. 連絡会議等	<p>第45回全国産業活性化センター連絡会議 （平成29年9月28日(木)～29日(金)） 場所：ホテルニューオータニ博多【会議】 安川電機ロボット村、西日本オートリサイクル・エコタウン【視察】</p> <p>全国地域技術センター連絡協議会 ・第1回事務連絡会（平成29年7月20日(木)） 場所：霞山会館（東京都） ・第2回事務連絡会及び設立30周年記念シンポジウム（平成29年10月19日(木)～20日(金)） 場所：(一財)大阪科学技術センター（大阪市）【意見交換会・設立30周年記念シンポジウム】 中田工芸(株)、東海バネ(株)（兵庫県豊岡市）【先進企業視察】 城崎西村屋本館（兵庫県豊岡市）【政策懇談会】</p> <p>第16回北陸・中部産業活性化センター連絡会議（平成29年12月6日(水)） 場所：(公財)中部圏社会経済研究所（名古屋市）【会議】 トヨタ産業技術記念館（名古屋市）【視察】</p> <p>賛助会員企業・団体連絡会（平成29年4月26日(水)） 場所：ホテル日航金沢 参加者：12名ほか事務局 平成29年度事業計画・収支予算・平成28年度の事業についての報告やR&D推進・研究助成事業などの説明及び交流会を行った。</p>

事業	実施状況
総務事項 (1) 理事会の開催	第 20 回理事会 (平成 29 年 6 月 12 日(月)) 場所：ホテル日航金沢 参加者：理事 5 名、監事 2 名 第 21 回理事会 (平成 29 年 6 月 28 日(水)) 書面決議 第 22 回理事会 (平成 29 年 12 月 22 日(金)) 書面決議 第 23 回理事会 (平成 30 年 3 月 9 日(金)) 場所：ホテル金沢 参加者：理事 5 名、監事 1 名
(2) 評議員会	第 18 回評議員会 (平成 29 年 6 月 27 日(火)) 場所：ホテル日航金沢 参加者：評議員 7 名 第 19 回評議員会 (平成 29 年 12 月 22 日(金)) 書面決議 第 20 回評議員会 (平成 30 年 3 月 27 日(火)) 場所：ホテル金沢 参加者：評議員 7 名
(3) 業務及び財産状況 の検査	監事監査 (平成 29 年 5 月 31 日(水))
(4) 登記事項	一般財団法人変更登記申請 理事の変更 (平成 29 年 7 月 31 日)
(5) 労働基準監督署届 出事項	就業規則 (変更) 届 (平成 29 年 4 月 28 日) 時間外労働・休日労働に関する協定届 (平成 29 年 7 月 26 日)

